

千葉大学医学部附属病院で肺癌の手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年9月3日

呼吸器外科

呼吸器外科では、肺癌の術前導入療法（手術前に化学療法を行う治療）後に手術を行うことに関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2024年8月31日の間に当院にて肺癌に対して手術前に化学療法（放射線や免疫療法を含む）を受けた後に肺切除を受けた方

1. 研究課題名

「術前導入療法における治療モダリティの違いが手術操作へ与える影響について」

※モダリティとは、方法や手段といった形式の違いを示す言葉です。

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院で肺癌に対して手術前に化学療法（放射線や免疫療法を含む）を受けた後に肺切除を受けられた方を対象とし、その手術の成績を評価することを目的としています。原疾患、併存疾患、術前導入療法の内容、選択術式、術後合併症などのデータを電子カルテから取得し、術前の化学療法の治療の違いが手術に与える影響を調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

2013年1月1日から2024年8月31日の間に、当院において肺癌に対して手術前に化学療法の後に肺切除を受けた患者さんに関して、電子カルテ上の手術データをもとにし

た臨床情報を利用します。具体的な情報としては、年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙）、既往歴、併用薬、家族歴、術前導入療法の内容、その合併症、手術情報（手術時間、出血量、使用した器具、手術アプローチ方法）、術後合併症、これらの情報を解析します。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部呼吸器病態外科学室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。ただし、本研究の参加拒否の申し出があった場合、当該研究対象者は本研究に組み入れませんが、申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合はこの限りではございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科
医師 佐田 諭己 043(222)7171 内線 5464